

# 上野地区まちづくりビジョン 骨子イメージ（案）

## ■ ビジョンの目的

- 上野地区の魅力を高める計画的なまちづくりを推進するため、関係者が共有できる2040年代頃の将来像と取組みの方向性を示す

## ■ 上野の歴史と現状

### （1）上野のむかし＜歴史的背景＞

～江戸・東京の歴史において象徴的な役割を担った

- ・寛永寺とその門前町として発展
- ・武家文化と町人文化の接合点であり、多様な人が行き交う場所
- ・幕末から第二次世界大戦後の復興までの激動の100年における日本の歴史の中心
- ・東日本方面の人にとっての東京の玄関口

### （2）上野のいま＜現況と課題＞

～強い魅力を放つ資源が多数ある

- ・上野恩賜公園に文化・芸術関連施設とみどりが集積
- ・谷中、湯島、浅草等に囲まれ、歴史・文化資源が蓄積
- ・建物の更新が進んでおらず、他都市と比較し商業・業務施設の集積度が低い
- ・公園とまちのつながりが希薄、駅空間と乗換動線が複雑、拠点駅に相応しい顔と広場空間が不足

## ■ まちづくりで大切にすること（上野らしさ）

- **世界文化遺産を含む多様かつ高度な文化・芸術関連施設が集積した「杜」**
- **多様で特色ある歴史・文化・商業が集積した「まち」**
- **積み重ねた「杜とまち」の歴史**

## ■ 上野が求められていること

- **空港直結の日本の玄関口かつ交通結節点としてのわかりやすさ**
- **上野に対する人々の期待**
  - ・関係者へのヒアリングやアンケート調査等による上野のイメージの把握（誰がどんな体験・営みをしたい場所か）
- **時代の要請**
  - ・外国人を含む多様な来街者の増加への対応
  - ・車社会の転換期への対応

## ■ 上野の将来像

…別添1

### 世界の<sup>すい</sup>粋・東京の<sup>いき</sup>粋が積み重なる 文化・芸術の殿堂

<sup>すい・いき</sup>粋がもたらす人々の体験・感動・営みが、  
<sup>すい・いき</sup>さらなる粋を生み、文化・芸術が無限に成長するまち 上野

#### I 杜が、世界に誇る文化・芸術資源（世界の<sup>すい</sup>粋）を極めている（「文化芸術立国」を牽引する拠点）

- 杜をこえた多種多様な場で人々と関わりながら、文化・芸術が**創造・表現**されている
- 世界の文化・芸術の**交流の拠点**になっている
- 寛永寺とその門前町という関係性を活かして、**寺町としての魅力**が向上している

#### II まちが、多様で特色ある文化・歴史資源（東京の<sup>いき</sup>粋）を包摂している

- 多様なことを受け入れ包摂（インクルージョン）し、**誰もが懐の深さ**を感じられる
- 時代の流れを超えて、個性ある**商業文化**が、独自の発展を遂げ続けている
- 日本を代表する**ものづくり技術**が、新しい世代に伝承され新たな価値が**創造・発信**されている
- 地域の祭り等の**伝統行事や生活**が、新たな世代や住民に受け継がれ洗練されている

#### III 杜とまちとそのつながりが、世界中の人々を惹きつけ、そこでの体験・感動・営みが新たな<sup>すい・いき</sup>粋を生んでいる

- 世界中の人々が、杜とまち**全体**を見渡し、自由に行き交い、**体験・感動**している
- 杜とまちでの体験・感動が**世界中に発信**され、惹かれた人々が次々に**上野を訪れる**
- 杜とまちでの体験・感動をきっかけに、惹かれた人々が**上野で新たな営み**をはじめている

## ■ 取組みの方向性…別添2

### ① 杜を磨き、杜をひろげる

※文化の杜と連携して検討

- 杜・駅・まちを活用した、**文化・芸術の創造・表現の場**をつくる（創造・表現・展示等の機能の強化）
- 杜・駅・まちを活用した、**文化・芸術の交流の場**をつくる（交流・発信・研究・人材育成・インキュベーション機能や、宿泊・滞在・サービス機能等の強化）
- 杜全体を支える**マネジメント体制の構築**

### ② まちを育て、まちをひろげる

※まちづくり部会を中心に検討

- 杜・駅・まちを活用した、**世界中の人々を惹きつけ迎え入れる場**をつくる（まちの資源の発信・案内機能や交流・インキュベーション機能、宿泊・滞在・サービス機能の強化）
- さらなる来街者を迎え入れるための**エリア防災力の向上**
- 積み重ねた歴史が息づく**まちの景観や賑わいの魅力の維持向上**
- 上野で住み、働くための**都市機能の強化**
- まち全体を支える**マネジメント体制の構築**

### ③ 杜とまちを重ね、つなげる

※基盤整備部会を中心に検討

- 杜とまちが重なる場所に、**杜とまち全体を体験・感動できる機能の導入・誘導**
- 杜とまちを自由に行き交うことができる、**人中心の空間活用と歩行者ネットワーク強化による回遊性向上**
- 日本の玄関口となる交通結節点として、**国際都市の顔に相応しいおもてなし空間の創出**
- 上野を訪れ、上野で住み、働くための**都市機能の強化**

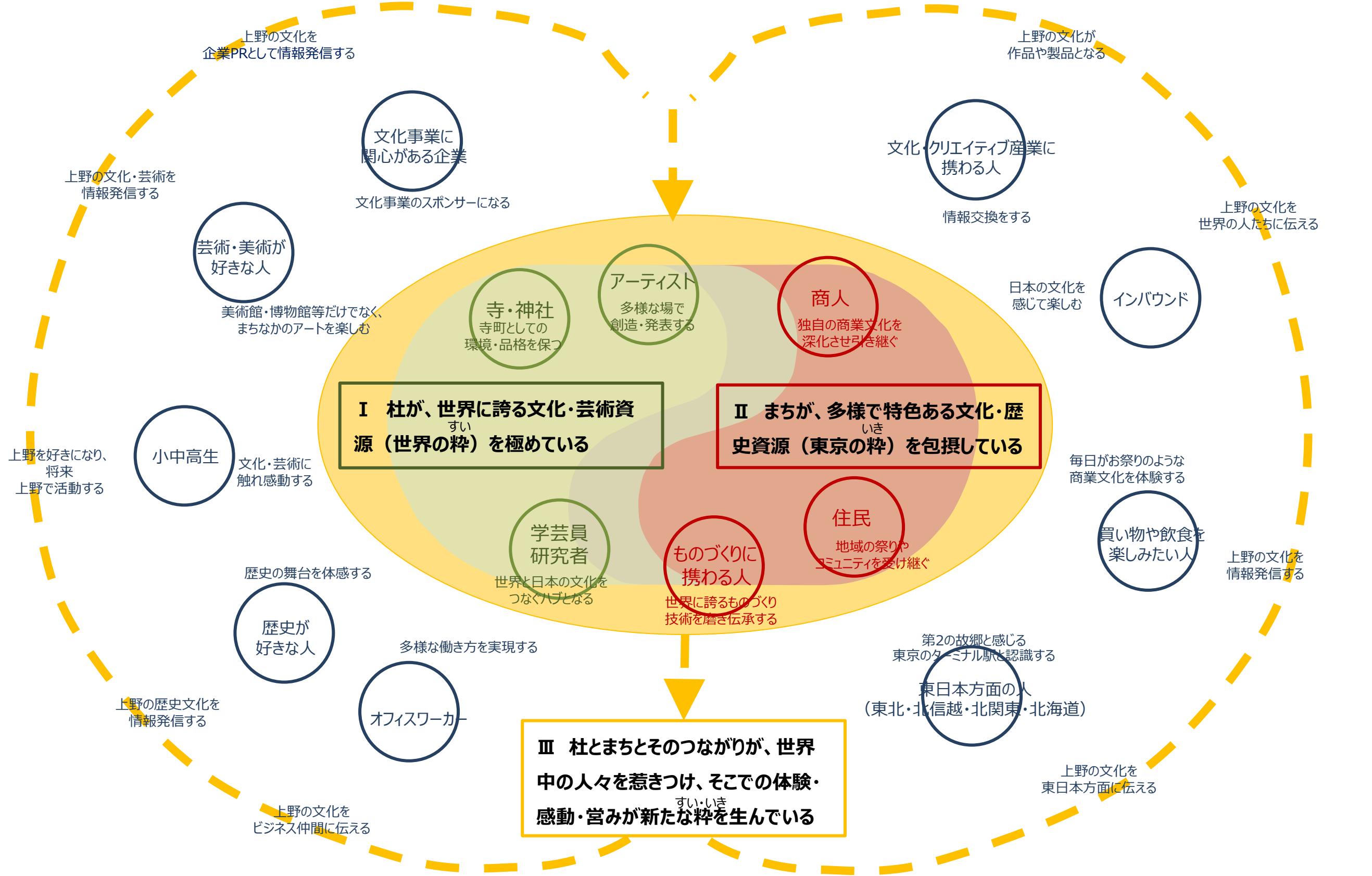
## ■ 将来像の実現に向けて

- 事業化に向けた検討の深度化
- 杜とまち全体を支える**マネジメント体制の構築**
- 世界文化遺産を活用した**景観のルールづくり**

■上野の将来像のイメージ図

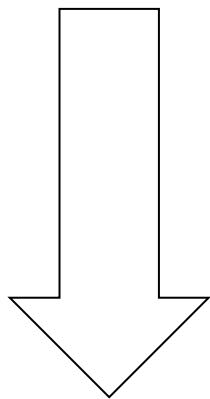
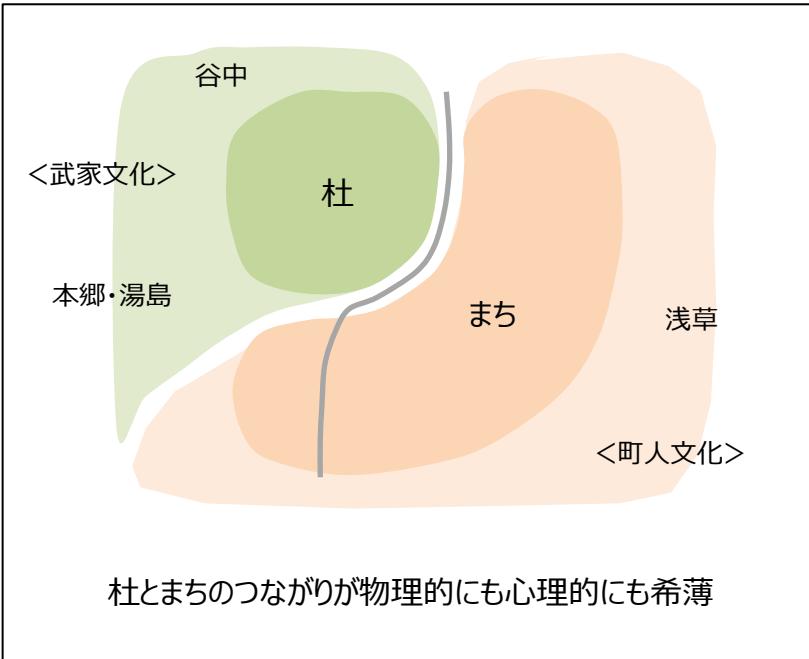
# 「世界の<sup>すい</sup>粋・東京の<sup>いき</sup>粋 が積み重なる文化・芸術の殿堂」

～<sup>すい・いき</sup>粋がもたらす人々の体験・感動・営みが、さらなる<sup>すい・いき</sup>粋を生み、文化・芸術が無限に成長するまち 上野～

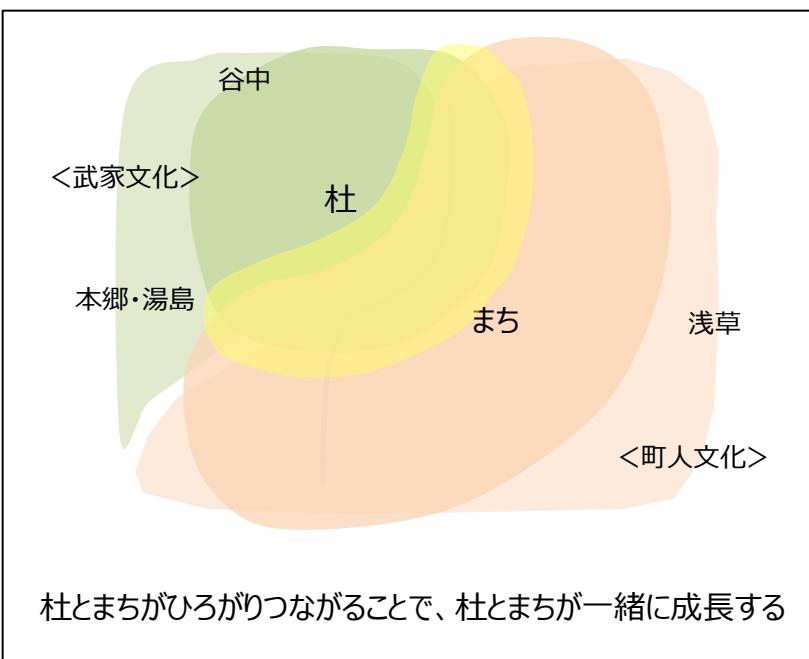


■ 取組みの方向性のイメージ図

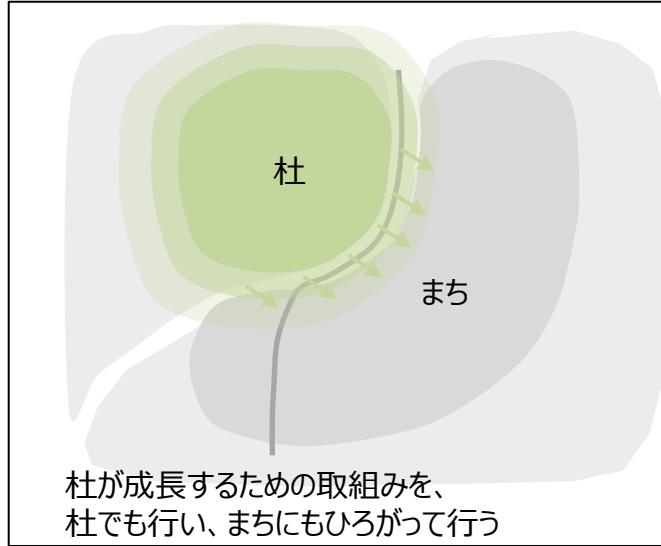
現状



将来像



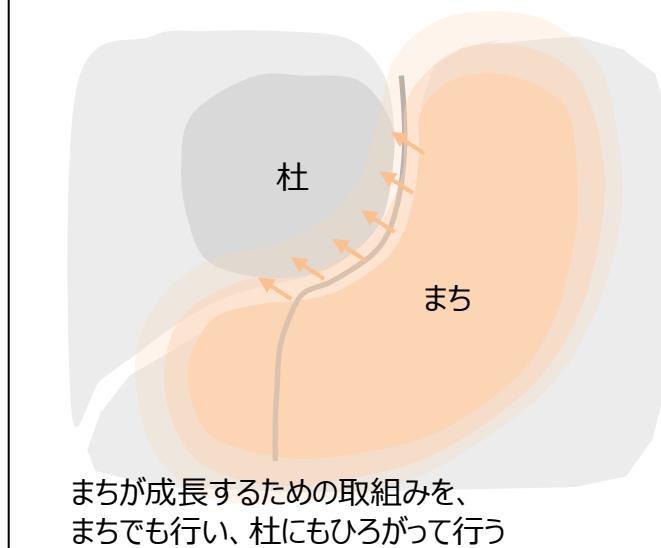
① 杜を磨き、杜をひろげる



(取組の例)

- 文化・芸術の創造の場をつくる  
→美術館分館、イベント広場、多様なプレゼンスペース、大空間の導入  
地域回遊アートプログラム・歴史的・文化資源活動プログラムの実施  
ミュージアムショップ・オークションハウス・体験型ミュージアムの導入、レプリカ技術展示等
- 文化・芸術の交流の場をつくる  
→サテライトキャンパス、コワーキングスペース、サロン、技術や研究のプレゼンスペース、  
ホテル・宴会場、カフェ等の導入
- マネジメント体制の構築  
→マネジメント組織の法人化、各館連携プロジェクトの実施等

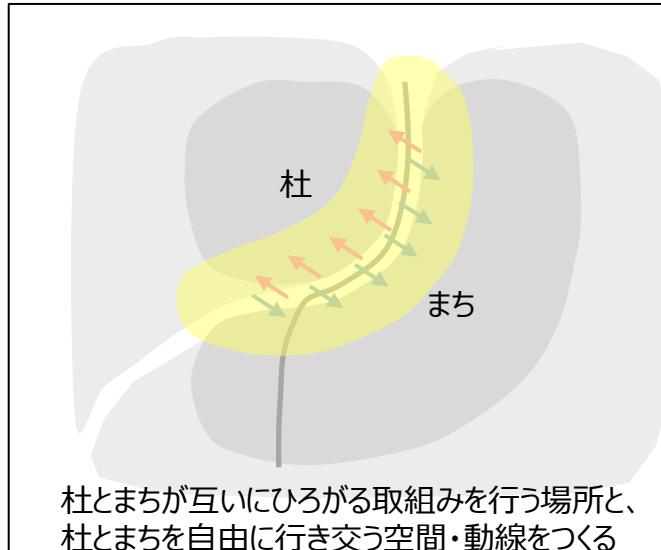
② まちを育て、まちをひろげる



(取組の例)

- 世界中の人々を惹きつけ迎え入れる場をつくる  
→インフォメーションセンター、デジタルサイネージ、アメ横等のアンテナショップの導入  
重層的な歴史を知るウォーキングツアー、ものづくり体験の実施、体験型ホテル導入等
- エリア防災力の向上  
→帰宅困難者対策と人中心の道路空間活用検討を兼ねた歩行者天国社会実験等
- まちの景観や賑わいの魅力の維持向上  
→にぎわい創出と適正な道路利用のバランスに関するルールづくり、中央通りの景観形成  
ルールづくり等
- 都市機能の強化  
→商業・業務・宿泊・住宅等の都市機能の導入
- マネジメント体制の構築  
→まちのエリアマネジメント組織・体制づくり

③ 杜とまちを重ね、つなげる



(取組の例)

- 杜とまち全体を体験・感動できる機能の導入・誘導  
→杜がひろがる機能、まちがひろがる機能の導入  
杜とまちを見渡せる視点場、杜とまちから見える象徴的空間の整備
- 人中心の空間活用と歩行者ネットワーク強化による回遊性向上  
→わかりやすい歩行者ネットワーク、高低差を解消しアクセス視認性の高い縦動線の  
整備、避難場所である上野恩賜公園への避難動線の確保
- 国際都市の顔に相応しいおもてなし空間の創出  
→歩行者広場空間と分かりやすい交通結節点の整備
- 都市機能の強化  
→商業・業務・宿泊・住宅等の都市機能の導入